



令和 3 年 2 月 1 7 日

はこだてしんそとかんじょう

函館新外環状道路（一般国道278号）

くこうどうろ

あかがわ

はこだてくこう

空港道路（赤川IC～函館空港IC）が**令和3年3月28日（日）15時に開通します！**

○今回の開通により期待される主な効果

効果1【広域周遊観光の活性化を支援】

函館市は、近年、観光入込客数、訪日外国人宿泊客数が増加傾向で、道内外からの観光需要が高まっており、函館空港と直結することで、市内渋滞を回避した周遊観光ルートが形成されます。空港道路の整備により、主要観光地までのアクセスが強化され、定時性が向上することで、新型コロナウイルス感染症による影響で大きく落ち込んだ広域周遊観光の活性化を支援します。

効果2【精密機器製品の流通利便性向上】

道南圏の物流拠点である函館空港・函館港を製品出荷で利用する函館臨空工業団地では、近年売り上げを伸ばしている精密機器企業が立地しています。空港道路の整備により、物流拠点までの定時性が確保されることから、流通利便性の向上が期待されます。

効果3【速達性向上による救急搬送の支援】

高次医療施設が集中する函館市では、近年ドクターヘリ搬送が増加しており、着陸後搬送ルートである道道函館上磯線（通称：産業道路）の慢性的な交通混雑により時間を要しています。空港道路の整備により、高次医療施設への速達性向上が期待されることから、迅速な救急搬送を支援します。

効果4【交通事故の低減及び通学児童の安全性向上】

並行する道道函館上磯線（通称：産業道路）の慢性的な交通混雑により、市道の交通量が増加し、交通事故が多発しています。空港道路の整備により、交通転換が期待され、交通事故の低減及び通学児童の安全性向上に寄与します。

- ・開通後の各ランプの通行方法については **別紙1** をご参照ください。
- ・開通に先立ち、開通記念式、通り初めを開催しますので **別紙2** をご参照ください。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策については **別紙3** をご参照ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部道路計画課長 こんの 今野 秀一 (0138) 42-7614 (内線351)広報官 さいとう 齊藤 整 (0138) 42-7702函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

はこだてしんそとかんじょうどうろ

函館新外環状道路（一般国道278号）

くうこうどうろ あかがわ はこだてくうこう
空港道路（赤川IC～函館空港IC） 開通 延長7.6km

令和3年3月28日（日）【通行無料】

- 函館新外環状道路は、函館市桔梗町を起点とし、函館市古川町に至る延長約15kmの地域高規格道路であり、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道と一体となり、6圏域中核都市である函館市や近隣都市間を連絡する高速ネットワークを形成します。
- このうち赤川IC～函館空港ICまでの延長7.6kmが、令和3年3月28日（日）に開通することで、函館IC～函館空港ICまでの総延長が10.0kmまで延伸し、空港に直結します。
- 空港に直結することにより、主要観光地へのアクセス、流通利便性の向上や救急搬送の支援、交通事故の低減が期待されます。
- 今回開通する空港道路は、函館IC～赤川ICまで片側2車線、赤川IC～函館空港ICまでは片側1車線の自動車専用道路で通行無料です。

■ 函館新外環状道路の整備状況



■ 函館IC～函館空港間の所要時間の変化

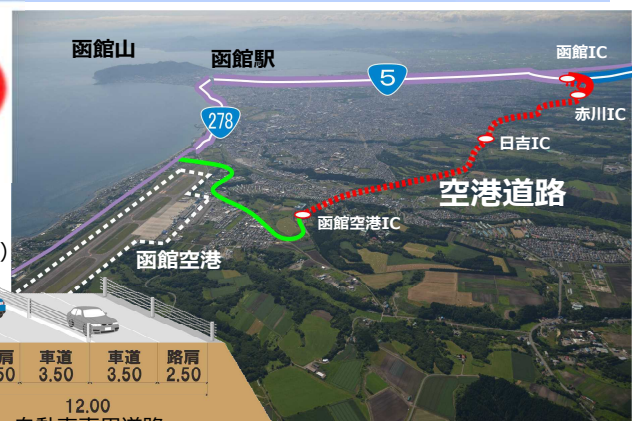
空港道路整備前 (一般道通行時)	夏期	30分
	冬期	33分

空港道路赤川IC開通後 (H27.3.14)	夏期	28分	2分短縮
	冬期	30分	3分短縮

空港道路函館空港IC開通後 (R3.3.28)	夏期	11分 (12分)	19分短縮 (18分)
	冬期	12分 (13分)	21分短縮 (20分)

函館空港まで
約19分
短縮

■ 標準断面図 (赤川IC～函館空港IC間)



資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、函館IC～日吉ICは80km/h、日吉IC～函館空港ICは70km/h、冬期速度はH28～30年度ETC2.0フープ速度(通常期:4～11月、冬期:12～3月)から算出した冬期低減率を通常期速度に乗り算出、括弧内の時間は函館IC～赤川IC間が暫定2車線の場合



広域周遊観光の活性化を支援



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 函館市は、交通拠点となる北海道新幹線駅、函館港、函館空港が整備されており、近年、観光入込客数、訪日外国人宿泊客数が増加傾向で、道内外からの観光需要が高まっており、函館空港と直結することで、市内渋滞を回避できる周遊観光ルートが形成されます。
- 空港道路の整備により、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道と連結することにより、主要観光地までのアクセスが強化され、定時性が向上することで、新型コロナウイルス感染症による影響で大きく落ち込んだ広域周遊観光の活性化を支援します。



ピックアップ “縄文遺跡群” バスツアー

大船遺跡と垣ノ島遺跡は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として、世界文化遺産の正式登録を目指しており、貸切りバスツアーを開催しています。

国宝「中空土偶」

ピックアップ 函館の“朝市”

函館の主要産業である水産品の出荷には函館空港や函館港が使われています。函館朝市ではイカ釣り堀による観光客へのPRに加え、函館の活イカは、鮮度保持した状態で函館空港より道外へ出荷しています。

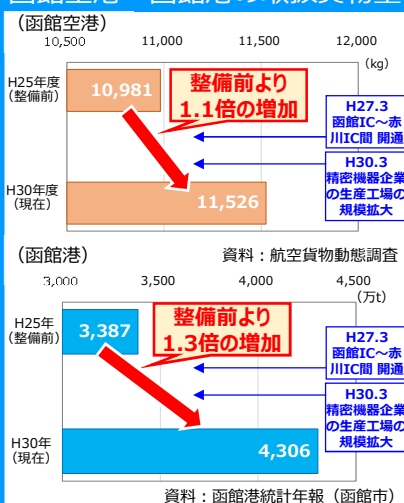
精密機器製品の流通利便性向上



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 道南圏の物流拠点である函館空港、函館港の取扱貨物量は近年増加しており、製品出荷で利用する函館臨空工業団地は、近年売上げを伸ばしている精密機器企業が立地しています。
- 輸送ルートである道道函館上磯線（通称：産業道路）は、交通混雑が頻繁に発生しているため、交通状況に合わせた集荷時間の変更を余儀なくされ、出荷前検査や積込時間に大きな影響を与えています。
- 空港道路の整備により定時性が確保され、精密機器製品の流通利便性向上が期待されます。

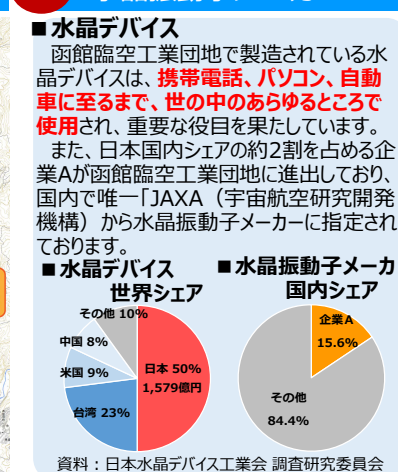
函館空港・函館港の取扱貨物量



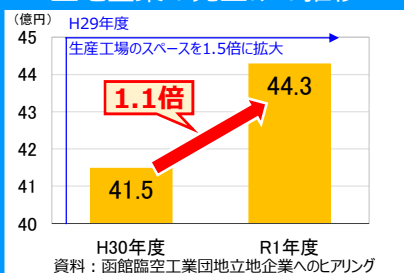
函館臨空工業団地立地企業の開通前後の輸送ルート



水晶振動子メーカー



立地企業の売上げの推移



産業道路の渋滞状況



【精密機器製造事業者（函館臨空工業団地立地企業）】
立地企業の多くは航空便を利用していますが、産業道路は渋滞しており、かなり時間に余裕を持って出発するなど、読めない遅延が発生する不安が大きいです。交通状況によっては輸送会社からの要請で、1～2時間程度、通常時よりも集荷が早まることもあり、出荷前検査の前倒しや航空便の出発時間に間に合わないこともありました。

空港道路整備による、速達性や安定性などの定時性確保による流通利便性向上に期待しています。

所要時間の変化



A large white helicopter with red and black markings is parked on the left. A man in a dark uniform is walking towards it. In the center, another man in a dark uniform is walking. On the right, a white ambulance with red and black markings is parked. Two people in blue uniforms are loading or unloading items from the back of the ambulance. In the background, there are several jets flying in the sky, leaving white smoke trails. A large white airplane is visible on the far right. The scene is set on a tarmac with mountains in the distance.

- ## 道南圏の脳疾患・心疾患対応医療施設



通常ドクターヘリは、搬送先病院の最寄のランデブーポイントに着陸し患者を搬送しますが、搬送途中での急な気象条件悪化や日没の際は、照明・誘導施設の整った函館空港に着陸します。搬送ルートの産業道路は頻繁に交通混雑が発生し、著しく時間を要する状況です。

空港道路の整備により函館空港と病院間の迅速な救急搬送が可能になると期待しています。

交通事故の低減及び 通学児童の安全性向上

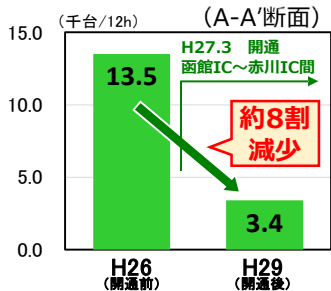


函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 空港道路に並行する道道函館上磯線（通称：産業道路）には、主要渋滞箇所が存在し、慢性的な交通混雑により、道幅の狭い市道赤川石川線への交通回避が発生し、交通量増加に伴う交通事故が多発していました。
- 函館IC～赤川ICの開通後、市道赤川石川線では、交通量や交通事故の減少に伴って、車両と児童・生徒の接触の危険性が減り、地域住民の安全性が大きく向上しています。
- 赤川IC～函館空港IC間の整備により、並行する道道及び市道からの交通転換が期待され、交通事故の低減及び通学児童の安全性向上に寄与します。

函館IC～赤川IC間の並行市道 赤川石川線の交通量の推移

▼ 赤川石川線（函館IC～赤川IC開通前後）



開通前：H26.9.18、開通後：H29.9.27

時間：7-19時

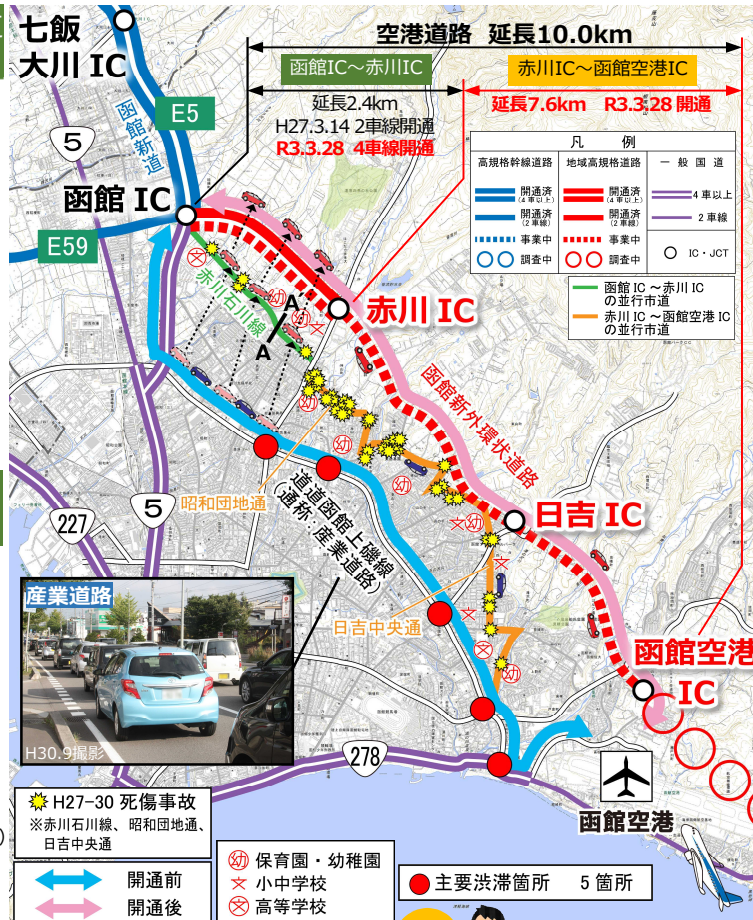
資料：函館開発建設部

赤川石川線の 死傷事故件数の推移

▼ 赤川石川線（函館IC～赤川IC開通前後）



資料：交通事故・生活道路統合データ（H26-30）
（公益財団法人 交通事故総合分析センター）



赤川IC～函館空港IC間の 並行市道の交通状況



資料：函館開発建設部

声 【赤川石川線沿線の学校関係者】

函館IC～赤川IC開通前は、交通量が多く、左右にくねくねカーブしているため、登下校時における車両と児童・生徒の接触による人身事故の危険性を感じていました。開通後は、通過車両が大きく減少したことから、安全性が向上していると感じています。

声 【昭和団地通沿線の学校関係者】

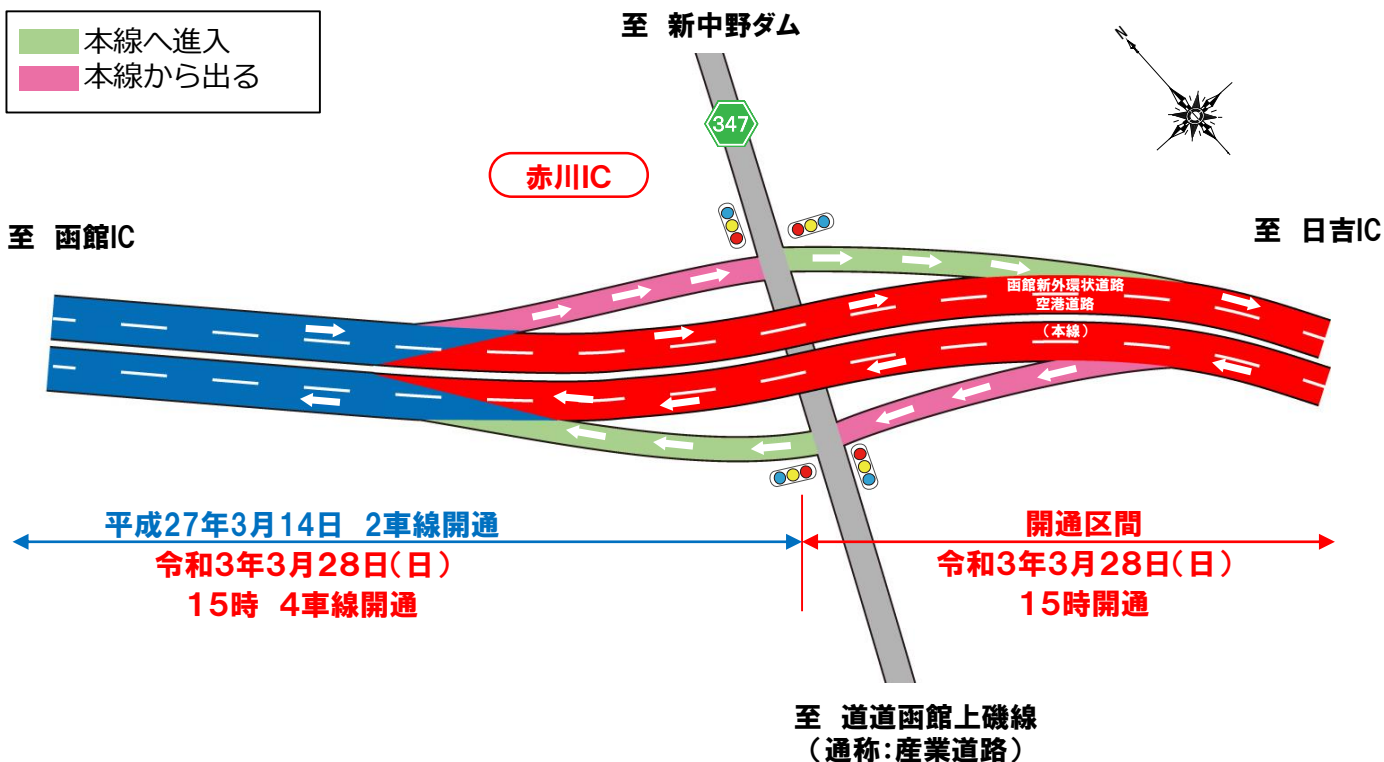
小学校前の昭和団地通は道幅が狭く・カーブが連続していますが、年々交通量が増加しており、児童の登下校時には事故の危険性を感じています。空港道路の整備による通過交通の転換、地域住民の安全性向上に期待しています。

■今回開通区間（空港道路：函館IC～函館空港IC）位置図



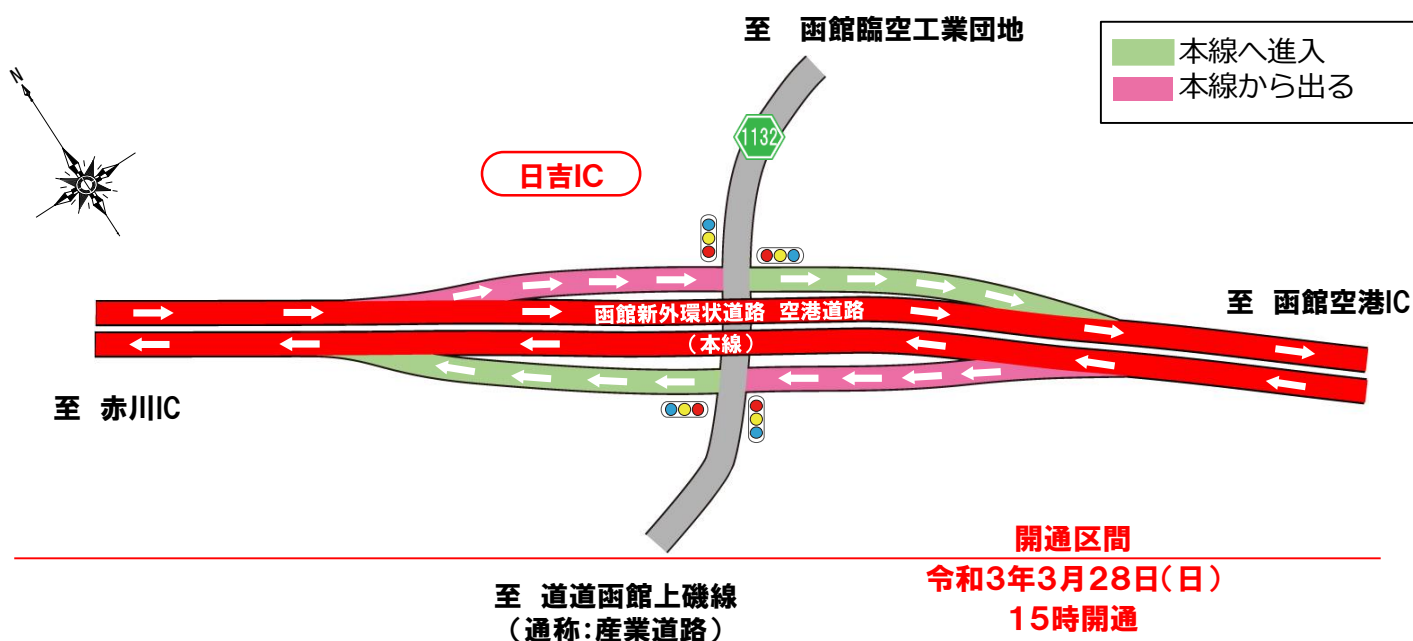
■赤川ICの通行について

- 本線から日吉IC方向への通行が可能となります。
- 道道347号から函館IC方向に加え、日吉IC方向への通行が可能となります。
- 本線との出入りでは道道347号交差点部の信号指示に従って下さい。



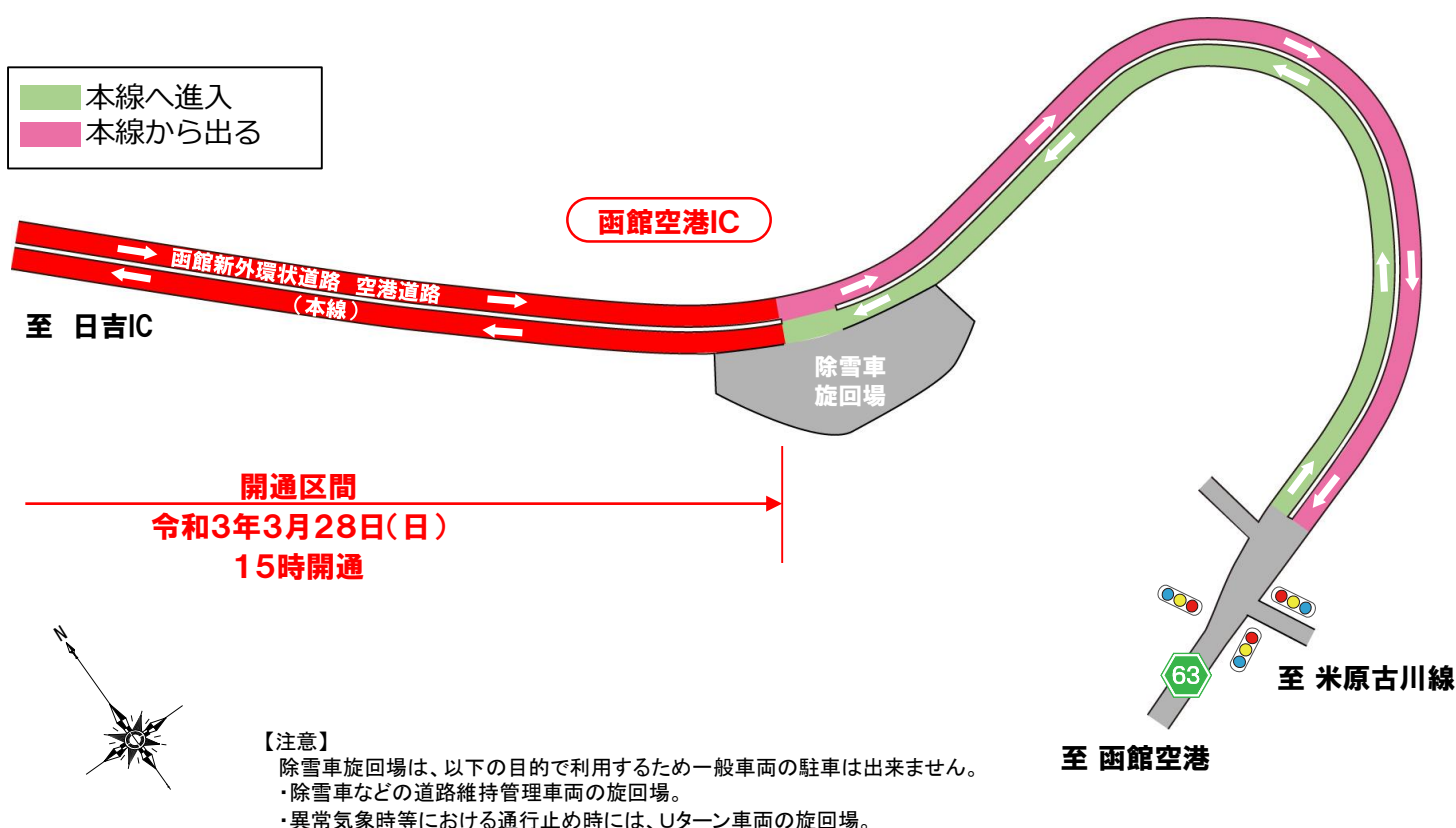
■日吉 I Cの通行について

- 道道1132号から赤川IC方向、函館空港IC方向への通行が可能となります。
- 本線との出入りでは道道1132号交差点部の信号指示に従って下さい。



■函館空港 I Cの通行について

- 道道63号から日吉IC方向への通行が可能となります。
- 本線との出入りでは交差点部の信号指示に従って下さい。



開通記念式・通り初めについて

開通に先立ち、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、関係者のみで行うこととしており、以下のとおり 開通記念式、通り初め を開催しますので、お知らせいたします。

・開通記念式 日時:令和3年3月28日(日) 開通記念式・鉄入れ式/10時30分

会場:渡島総合振興局(函館市美原4丁目6-16)

・通り初め 日時:令和3年3月28日(日) 通り初め/12時20分～

会場:函館新外環状道路「空港道路」赤川IC付近 本線上

※天候や路面状況等により、通り初めの開始時刻が前後する場合があります。

※会場等の都合から、事前の申込が必要となります。取材を希望される方は、3月19日(金)(厳守)

までに、下記のFAX通信連絡票にて御連絡願います。

※報道関係者への事前説明は、別途御案内いたします。

FAX通信連絡票

函館開発建設部

広報官 宛

(FAX:0138-40-3619)

件名 : 開通記念式・通り初めの取材申込み

下表のとおり 申し込みます。

会社名(所属)	氏 名	電 話 番 号

【注意事項】

- ① 開通記念式・通り初めでの取材については、必ず開通記念式会場(渡島総合振興局)にて受付を行ってください。
- ② 取材に当たっては、必ず社名入りの腕章を着用し、現地担当者の指示に従ってください。
- ③ 開通記念式・通り初めへ、車にてお越しの際は、誘導員の指示に従い報道関係者用駐車場を御利用ください。
- ④ 開通記念式・通り初めでの撮影は、進行に支障の無い範囲でお願いいたします。
- ⑤ 開通記念式・通り初めにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や北海道の警戒ステージの段階等により、式典を中止させて頂く場合がございます。

新型コロナウイルス対策のご案内

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されております。

当日会場ではご列席いただく皆様の安全のため、下記の対策をお願いいたします。

1. ご来場の際には、必ずマスクの着用をお願いいたします。
2. 受付の前に、体温測定（検温）にご協力をお願いいたします。
3. こまめな手洗い・手指の消毒をお願いいたします。
4. 当日は、ソーシャルディスタンス確保をお願いいたします。
5. 当日は、発熱や咳などの症状がある方は、ご来場をご遠慮頂くようお願いいたします。
6. 当日は、北海道コロナ通知システムへのご登録をお願いいたします。

北海道コロナ通知システムとは？

「北海道コロナ通知システム」は皆様が施設利用やイベント参加の際、QRコードからEメールアドレスを登録いただくと、同日に同一施設を利用した方の中から感染者が確認された場合、北海道からEメールでお知らせするものです。当日会場にてご登録をお願いいたします。

